

～下記の研究を行います～

『急性肝炎に関する多施設対象アンケート調査』

【研究の主宰機関】 東京大学医科学研究所感染症分野

【研究代表者】 四柳 宏

【研究の目的】 日本における急性肝炎の発症数に関する実態把握

【研究の期間】 研究許可日～2028年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015年4月1日～2023年3月31日までに当院でB型急性肝炎あるいはC型急性肝炎の診療を受けた方

●利用する試料・情報の種類

試料：無し

情報：診療録から以下の情報を収集します。

B型急性肝炎の患者さんの年度毎の数およびC型急性肝炎の患者さんの診断年と数、性別

●外部への情報等の提供

データセンター（東京大学医学部附属病院感染制御部）への情報等の提供はグーグルフォームで行いますが、内容には、患者さんを特定する情報（氏名等）は含まれません。

【情報等の管理責任者の氏名又は名称】

国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

東京大学医科学研究所

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

東京大学医科学研究所 四柳 宏

東京大学医学部附属病院 ほか

②既存の情報等の提供のみを行う機関

肝疾患診療連携拠点病院 72 機関

各地域における中核病院

【研究の資金源】

厚生労働科学研究費（オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究）

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医

療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの機関の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

消化器内科 科長 阪森亮太郎

研究代表者

東京大学医科学研究所 感染症分野・教授

四柳宏